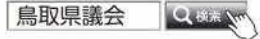


# 一般質問

6月定例会では、22人の議員が一般質問を行いました。  
 本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。  
 なお、議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。  
 ※掲載に時間がかかる場合があります。



## 答弁者説明

答弁者は、記載のないものは知事（各部署長の答弁も含む）。教育長、警察本部長は知事の部局ではないため、別に表記した。

## 会派正式名称

【自由民主党】鳥取県議会自由民主党  
 【民主とっとり】鳥取県議会民主とっとり  
 【公明党】公明党鳥取県議会議員団



前田 伸一  
議員



選挙区 鳥取市  
会派 公明党

## 若手産業人材の確保と定着について

**問** ①離職率の高い若者の定着に向けて産業振興未来ビジョンにおける指標の見直しと取り組みの再検討を②高校でのふるさとキャリア教育強化を③高校の枠を超えて地域課題に地元企業と取り組む高校会議所（※1）への支援を。

**答** ①指標の見直しについて協議し、若者の力を発揮できる会社作りに繋がるセミナーを普及させたい②（教育長）充実に努めてまいりたい③高校生の地域活動を支援する補助制度等で応援したい。（教育長）優れた取り組みの見本であり支援したい。



村上泰二郎  
議員



選挙区 西伯郡  
会派 民主とっとり

## 風力発電の放置対策・体罰等の防止体制等

**問** ①県西部等の大規模風力発電で地上権契約により撤去できず放置のリスクを懸念②体罰や不適切指導事案では学校や教育委員会の調査は困難。調査・是正権限のある第三者機関が必要だ③カメムシ対策1500万円予備費追加の英断を支持する。

**答** ①鳥取県独自で撤去に備えた供託・積立制度をつくり、負の遺産を残さない②第三者的な調査の権能を担保して、当事者に寄り添った仕組みづくりをする③思い切った防除対策が出穂期に間に合うよう判断した。



福田 俊史  
議員



選挙区 八頭郡  
会派 自由民主党

## 映画「ルート29」による魅力プロモーション

**問** ①国道29号が舞台の映画「ルート29」の公開を契機とした賑わいづくりの可能性について所見を伺う②県内にある映画などの撮影地としての魅力を磨き「ロケツーリズム」を推進すべき。

**答** ①周遊ツアー実施を検討するなど、どのように仕掛けていくか、兵庫県や市町村、映画関係者と協議する②ロケ地となり得る本県の魅力的な撮影地を広報してきたが、シネマツーリズムは今後も発展が見込まれるため、今後もフィルムコミッションに注力し地域振興を展開していく。

**前住 孝行** 議員 

選挙区 八頭郡  
会派 無所属

**①相続登記の事業推進**  
**②歩道整備の視点展開**

**問** ①市町村とも連携しながら所有者不明土地の状況把握し、未利用土地を活用していくべきと考えるが②災害時の避難所へのアクセスを想定した歩道整備について、障がい者や高齢者にも意見を聞く機会を持つべきだと考えるが。

**答** ①もっと制度を分かりやすく提示していかないと不動産相続登記の義務化PRだけではなかなか上手く回らない。関係者ともよく協議し円滑に制度の施行が進むように、我々も協力したい②今後も工夫をして、地元寄り添った対応を取ってまいりたい。

**前原 茂** 議員 

選挙区 米子市  
会派 公明党

**スマート農業の促進について**

**問** 今後20年間で農業従事者が現在の4分の1に、116万人から30万人まで減少が見込まれている。安定的な食料供給のため、国会では、スマート農業技術活用促進法が可決された。本県におけるスマート農業の現状を伺う。

**答** スマート農業は、省力化、技術の習得、品質の向上や生産技術の高度化など、非常に有効である。本県においても、令和3年度より自動操舵トラクターは40台以上、ドローンも26台など急速に増加している。スマート農業の活用が県内に広がっている。

**河上 定弘** 議員 

選挙区 米子市  
会派 自由民主党

**人材育成と確保、所得向上への取り組み**

**問** ①米子高専と企業・団体と鳥取県との共同教育など県内企業の人材確保に繋がるような取り組みを展開すべきでは？②待望されるインドの高度IT人材の県内の育成・受け入れ体制を整備しては？③工賃向上に繋がる「福祉×アート」の取り組みを関西万博や県立美術館で展開しては？

**答** ①人材育成も兼ね、協調して事業展開していきたい②インドの高度IT人材確保に向けた道筋を切り開いていきたい③作品の展示などを実現したい。また、グッズ販売も考えたい。

**山川 智帆** 議員 

選挙区 米子市  
会派 無所属

**①公営住宅のあり方**  
**②淀江産廃の安全性**

**問** ①人口動態・世帯属性に応じて県営住宅の入居資格を見直しては。公営住宅の必要戸数・総量を市町村と一緒に検討しては②西部広域は一般廃棄物処分場をオープン型にする予定を住民の要望でクローズド型にした。県も淀江産廃について、再度クローズド型の比較検討をしては。

**答** ①入居資格、優先入居の対象の見直し、必要戸数・総量については、関係団体の意見を聞いて検討したい②オープン型で申請がなされてきているので、これを厳密に審査するのが県の責務である。

**玉木 裕一** 議員 

選挙区 鳥取市  
会派 無所属

**給食の無償化で子育て王国とっりの充実を**

**問** 学校給食の市町村格差を県が前衛的にサポートする事により、子育て世代や子どもたちに“子育て王国とっとり”を強く実感してもらう事が可能になると考える。

**答** 今日の提案も含めて次の予算時期までに、次の子育て施策を改めて市町村と話し合う。**(教育長)** 無償化が自治体間の競争を生み出したり財源の格差が子どもたちの子育ての格差に繋がる事はあってはならない。大切な視点であり、何らかの支援はやはり必要だ。これまで以上に国に要望を届けるよう努めて参りたい。

**語堂 正範** 議員 

選挙区 東伯郡  
会派 自由民主党

**①白砂青松を守る**  
**②稲作政策について**

**問** 伐倒駆除の工期延期が続いている。松くい虫の被害を未然に防ぐためにも工期を守る必要があるのでは？

**答** 年度内に駆除が完了するよう、適切な工区の設定、適期の発注を行い、松くい虫被害の未然防止を着実に進める。

**問** 気候変動などの影響により、コシヒカリの1等米比率が大きく低下している。新しい品種の検討、体制整備が必要と考えるがどうか？

**答** 新しい体制もつくり、暑さに負けない米づくりを目指し取り組んでいく。

**尾崎 薫** 議員



選挙区 鳥取市  
会派 民主とっとり

**鳥大の教員養成・日本初  
女性弁護士中田正子**

**問** 鳥大に教育学部・学科があるのが望ましい。県内で教職に就いたら奨学金免除を。

**答** 大学も改革して欲しい。県も汗をかく。奨学金について大学との協議で議論する。

**問** 私の調査では鳥大で免許取得可能と6割の学生は知らない。情報発信、高大連携、計画的採用計画が必要。

**答** (教育長) 連携交流に努め採用計画も出来るだけ示す。

**問** 中田正子さんを広めるため、よりん彩のパネル展の折に「虎に翼」制作統括の尾崎氏の講演を開催したらどうか。

**答** 企画し顕彰する。

**山本 暁子** 議員



選挙区 鳥取市  
会派 自由民主党

**有害鳥獣対策について**

**問** ①捕獲個体は埋設以外の処理が好ましい②一定期間、豚熱陽性の発見がないエリアの解除と感染個体廃棄に対しての支援を③市街地などに出没したクマなどの捕獲対応のために現場経験豊富な若手のエキスパートを育てるべき。

**答** ①できれば利活用する、地元と一体化しながら埋設をなくしていくのが一番いい。市町村と話し合い、促進措置など考える②国に要望予定。現場の状況のみて機動的に対処する③新しい鳥取型の進化を検討したい。指導者育成コースもスタートする予定。

**市谷 知子** 議員



選挙区 鳥取市  
会派 無所属

**万博、教員、給食無償化、  
精神障がい、産廃**

**問** 万博会場はメタンガス爆発発火危険。子ども送らないで②教員採用一次試験免除は2年講師の条件外して③鳥取で働く教員に奨学金返済免除を④市町村と学校給食無償化協議⑤県が実態調査し精神障がい者医療費助成拡大を⑥軟弱地盤の淀江産廃計画なぜ止めない⑦美保基地C2輸送機のミサイル発射研究所感。

**答** ①(教育長)安全対策の情報提供努める②(教育長)ご理解を③検討すべき④協議する⑤行う必要ない⑥対策は審査対象⑦ジェット戦闘機基地にしない覚書を遵守して頂く。

**東田 義博** 議員



選挙区 鳥取市  
会派 自由民主党

**環境対策・脱炭素の  
取組みについて**

**問** 脱炭素の達成状況、鳥取P P A(※2)の普及拡大、NE-S T(※3)健康住宅の取組、廃プラ対策の推進、電気自動車の普及と充電施設の空白地帯解消について伺う。

**答** 脱炭素の進捗率は大体3割であり、ペースアップを図る。P P Aの導入実例を重ねている。NE-S T住宅は4割近く採用され、賃貸建物にも広がっている。プラスチックの分別収集の実証実験に取り組む自治体を応援する。電気自動車の普及は脱炭素に向けて重要であり、県内の充電施設空白地帯の解消を図る。

**坂野経三郎** 議員



選挙区 鳥取市  
会派 民主とっとり

**命を守る防災対策  
カスハラ対策**

**問** 第8普通科連隊長も必要性を言及された。県庁には、成功させるだけの人材が揃っている。県民の生命と財産を守るため、自衛隊と連携した防災訓練を実施すべきでは。

**答** 重要であり、挑戦したい。  
**問** 土下座の要求を受けた県内の労働者から、「カスハラ条例を制定して欲しい」と聞いた。条例制定を目指す他県もあるが、所見を問う。

**答** 8月に、県内1500事業所に調査を実施する。啓発、企業の仕組みづくり、社会環境の整備、そのための助成制度の検討を優先する。

**銀杏 泰利** 議員



選挙区 鳥取市  
会派 公明党

**視覚障がい者支援を  
美歎川の水質浄化を**

**問** ①視覚障がい者にとって点字ブロックは命綱、一斉点検と改善を②歩行訓練士の育成と県東中部へ配置を③点字ブロックの設置を④エスコートゾーンの設置と音響式信号機に更新を⑤美歎川の水質悪化問題。発生源も見えてきており、しっかり対策を。

**答** ①連携会議をつくり、早急に解消を図る②充実について検討する③増やすことは論を待たない④(警察本部長)必要箇所の整備と補修に努める⑤地元と協議の場をつくり、原因を明らかにし対策あれば、実行する。

**中島 規夫** 議員 

選挙区 鳥取市  
会派 自由民主党

**豪雨災害での対応と復旧、自衛官の確保**

**問** ①昨年7月の台風7号による豪雨の際、住民からの通報に対応できたのか。また、災害復旧事業の発注状況は②県民の安全と安心を守る自衛隊の重要性の認識は。自衛官の確保の取組状況は。

**答** ①東部消防管内で71件、中部消防管内で11件の通報があったが全件に対応。復旧に向けた公共土木事業の契約率は約7割。各地域で進捗を図っている②自衛隊の組織力技術力は危機管理面において必須であり、その活動に感謝。自衛官の募集に市町村と積極的に取り組んでいく。

**入江 誠** 議員 

選挙区 東伯郡  
会派 自由民主党

**①災害用井戸②オンライン立会③主権者教育**

**問** ①断水時飲み水の確保が最優先だが、風呂水・トイレ水・洗濯水に不便を感じる。災害用井戸の活用が有効では②本県におけるオンライン立会いの必要性は③小中学校の段階から主権者として政治や社会を自分事のように考えることが重要。

**答** ①準備ができていない市町村も検討が進んだ②投票所立会人の数を守るよりも、投票箱を守る公職選挙法の運用をスタートさせたい③(教育長)子どもたちが地域社会に参画し、まちを良くするなど意識の醸成を検討し進める。

**鳥羽 喜一** 議員 

選挙区 倉吉市  
会派 自由民主党

**県立美術館の駐車場対策と教員の成り手不足**

**問** 県立美術館のために新しく構築された駐車場は約140台のみで、心もとない。旧市街地の駐車場と県立美術館を結ぶループバス運行を倉吉市と連携し運行できないか。

**答** 倉吉市の構想に対して協議し、応援させていただく。

**問** 学校現場の教員を支える体制を強化すると共に、教育委員会への教員の異動の緩和を念頭に、教育行政のプロを育成する教育行政職採用を導入できないか。

**答** (教育長)教育行政のプロを育てることは効果的なやり方であり、検討するに値する。

**浜田 一哉** 議員 

選挙区 境港市  
会派 自由民主党

**①本県における防災対策②港湾の進展**

**問** ①大規模災害時には共助が大切。自主防災組織の活動実態と自治会への加入減少について問う②コンテナターミナル、公共マリーナの拡張、バリアフリー化など今後の港湾整備には体制強化が必要ではないか。

**答** ①加入促進を図る市町村の取組を奨励し、自治会もバックアップしながら、自主防災組織を強化していく②境港管理組合もポートセールスのための部局を確立し拡大、充実に図ってきた。体制についても、島根県と協議をしながら、今後も展開を図っていく。

**福浜 隆宏** 議員 

選挙区 鳥取市  
会派 無所属

**①ムービングハウス②俯瞰カメラ③園庭芝生**

**問** ①仮設住宅は資材と人員不足で供給が追いつかない。内装まで完備したムービングハウスは有効で協会と協定を②河川決壊を想定して俯瞰で監視できるカメラ増設と3次元画像を地図化できる新システムの活用を③園庭の芝生化を支援する国の制度創設を機に、市町村への普及啓発と本県で全国フォーラムの開催を。

**答** ①協定含め仮設住宅提供の形態を増やす戦略で臨む②今年度2カ所に俯瞰カメラ設置予定。新システムも検討③国の制度周知を市町村に呼びかけフォーラムも検討する。

**西村 弥子** 議員 

選挙区 米子市  
会派 無所属

**①生涯の命と健康②山陰柴犬③ワイン産業**

**問** ①「更年期障がい」の『障がい』が相談しにくい一因だ。「『更年期』相談支援センター」には。全ての児童生徒に国際標準の「包括的性教育」を。学習指導要領改定を含め国に要望求む②「山陰柴犬」保存活動に協力願う③人手不足の6次産業・ワインの現場で頑張る若者にエールを。

**答** ①愛称等工夫して多様な感覚に沿い入りやすくしたい。(教育長)他県と情報共有し包括的性教育の実践的な取組を進める②皆様の活動を後押しして対策を考える③応援し地域・関係者と共に歩む。

## 用語の説明

### 3ページ

(※1) **高校会議所** … 富士宮市が発祥の、高校生等が主体となって地域振興や地方創生について学び、実践する取り組み。

### 5ページ

(※2) **PPA** … 「Power Purchase Agreement (電力販売契約)」の略称。企業や個人が保有する施設の屋根や遊休地に無償で太陽光発電設備を設置し、電気を供給する仕組み。

(※3) **NE-ST** … 「Next Standard」の略称。鳥取県が独自に設けた、家の「断熱」と「気密」についての次世代型の性能基準。

## 新会派の結成

浜田妙子議員ほか、計6名によって、「鳥取県議会民主とっとり」が結成されました。



伊藤 保

議員



選挙区 東伯郡

会派 民主とっとり

## 山陰道で単独事故多発 昨年は520件余り発生

**問** 令和5年の資料だが、山陰道、鳥取道、米子道で740件余りの交通事故が発生している。その7割にあたる520件余りは山陰道で発生している。事故原因の分析と対応は。

**答** (警察本部長) 事故の大半は、ワイヤーロープ接触事故が原因。正面衝突の事故防止効果は発揮されている。事故は14時から18時の時間帯に多く発生し、事故原因は一瞬の居眠りなど前方不注意の割合が高い。フロアジャッキ等を導入し、事故車両撤去のための通行止めの時間短縮に努めている。

## 議会事務局からのお知らせ

### 請願・陳情の提出期限が変わります

令和6年9月定例会から、請願・陳情の提出期限が、**開会前に開催される議会運営委員会の日の翌日(休日の場合は翌開庁日)の正午(必着)**に変更されました。これにより、**概ね開会初日の6日前の正午**が提出期限となります。具体的な日付は、定例会ごとに決定されますので、詳細は県議会ホームページをご確認ください。

### 県議会議員の政務活動費および資産等の公開

「令和5年度政務活動費収支報告書」及び「令和5年度資産等補充報告書等」の閲覧は次のとおりです。

○時間 午前8時30分から午後5時15分(閉庁日を除く。)

○受付 県議会事務局総務課(議会棟本館2階)

※政務活動費の収支報告の状況や領収書等は、鳥取県議会ホームページでも公開しています。

鳥取県議会 政務活動費



### 議員の就任

令和6年3月の補欠選挙により、2名が鳥取県議会議員に就任しました。

玉木 裕一 議員(鳥取市選挙区)

山本 暁子 議員(鳥取市選挙区)